



まつえだより11月

November

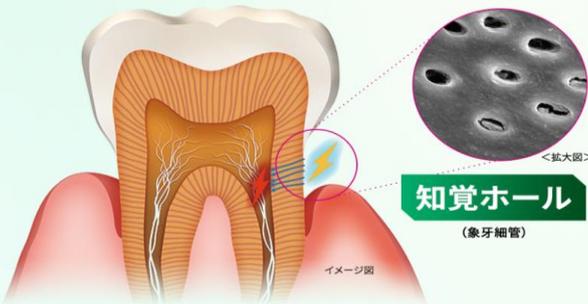


まつえだより11月号は、
知覚過敏の治療についてです。

知覚過敏といっても、生活習慣を替えば治る**軽度**のものから
神経を取る必要のある**重度**のものまで、原因と深刻度は
さまざまあります。



食べ物や飲み物などで、
繰り返ししみる、知覚過敏の痛み・・・その原因は知覚ホールに！



知覚ホールとは、象牙質にある小さな穴
(象牙細管)のことを指します。この穴は、
象牙質の表面から歯髄(神経)にまで
つながっています。ハグキの退縮などで
象牙質が露出すると、この穴を通じて、
冷たいものなどの刺激が神経に伝わり、
歯がしみる知覚過敏症状を引き起こします。

痛い！知覚過敏症状の発生メカニズム



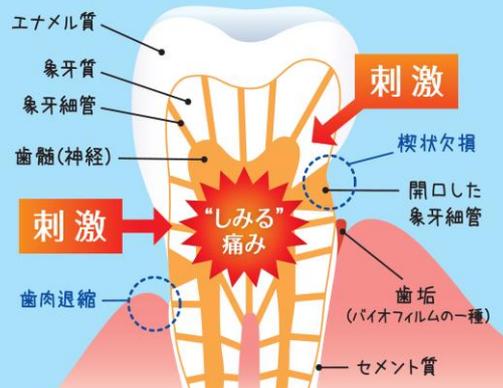
- 1 歯周病や加齢等によるハグキ下がり

- 2 知覚ホールがある、歯の根元(象牙質)の露出

- 3 様々な刺激が「知覚ホール」を通じて神経に伝わる

- 4 歯がしみる

知覚過敏のモデル図



●知覚過敏の予防と対策●

知覚過敏の方は、毎日の歯みがきがしみて痛みを感じる場合がありますので、
知覚過敏症状を防ぐハミガキの使用をお勧めします。歯を磨く時は、力をいれすぎ
ないように、気をつけましょう。また、ハグキの退縮が、知覚過敏を引き起こす
原因に繋がりますので、歯周病を予防し、健康なハグキを保つことが大切です。
痛みが続く場合や、不快感を感じる場合など症状が続くようであれば、
お早めの受診をおすすめします。



☎075-711-8241

